

看護師の一日

神経難病の患者さんに落ち着いた療養環境を提供し、1日1日を大切に過ごしてもらえるよう看護に取り組んでいます。

出勤

職員のほとんどがマイカー通勤のため、広い職員用駐車場を用意しています。もちろん無料で使えます。

9:00- 申し送り、
チーム打ち合わせ

病棟ごとに、日勤・夜勤の看護師全員が集合し、患者さんの状態などの情報共有を行います。その後、チームごとの打ち合わせを行い、より詳細な情報共有を行なっています。

9:30- 午前の看護ケア

担当する患者さんの病室に行き、看護ケアを行います。検温、脈拍や血圧などの測定、記録のほか、足浴や髭そり、屋外への散歩など、少しでも気持ちよく過ごせるよう療養環境を整えます。

12:30- お昼休み

職員食堂で仲間とおしゃべりしながらリフレッシュ。当番がある場合交代で取っています。

13:30- 勉強会

職員が講師となり、定期的な勉強会を通じて全体のレベルアップを図っています。全員が参加できるように、勤務時間内に複数回行っています。

14:00- カンファレンス

病棟ごとにナースセンターに集まり、意見交換や検討を行い、問題点をすぐに改善できるようにしています。

14:30- 午後の看護ケア

午後も引き続き担当の患者さんの病室でケアを行います。お風呂日は、午前から入浴介助やお風呂後のケアも行います。

16:30- 申し送り

夜勤者の出勤後に申し送りをを行い、夜勤に向けての情報共有を行います。

17:30- 退勤

勤務時間内で時間をやりくりしながら、患者さん一人ひとりと関われるようにケアにあたっており、残業はほぼありません。

神経難病看護の やりがいとは

患者さん一人ひとりとじっくり向き合い、信頼関係を築きながら、患者さんの人生そのものに寄りそった心の看護ができます。

また、時間をかけて一步一步専門知識を磨いていけるのも、大きなやりがいと言えます。

家庭を大切にしながら 働ける

日勤・夜勤の2交代制により、深夜の交代が無いため、家で待つ家族も安心できます。

残業もほとんどなく、自分の時間や家庭を大切にしながら働くことができます。